

Lion

IWATE



2015.June

感謝、LCIF復興支援とともに！



地区ガバナー

L. 吉田 昭夫 (盛岡中津川LC)

6月17日本州最東端の宮古市に向け国道106号を車で走らせました。2014～15年332-B地区ガバナーL.吉田、幹事L.西本、会計L.伊藤は今期最後のそろい踏みでした。季節も例年より早いのか、北上山地閉伊川溪流は、緑も濃く、鮮やかで、国道は随所に震災復興建設の現場が100kmの道すがら見られ、感慨深いものがありました。

それは、2011年3月11日わが日本国を襲った今世紀、世界でも最大級の東日本大震災津波、当時のガバナーL.相原、続くL.高橋、L.千葉、L.佐々木、各ガバナーと、関わるサポートをしたライオンの諸氏、そして332-B地区オールライオン、その復旧・復興にかける一途な思いと行動には、ご苦労と感謝の思い以外、何物もない心境です。なかんずく全国津々浦々のライオンからも物心に亘る支援をうけ、我々こぞって感謝を申し上げなければなりません。ありがとうございます。

このようにライオンズクラブ国際協会が、ライオンズムの信條により支援交付されるLCIFの支援は、まさに人道的「We Serve」精神の神髄と私は考えています。

332-B地区最後のLCIFによる支援は、アクティビティスローガン—“デッカイ感動（出会い）！デッカイ夢（抱き）！デッカイ未来（繋げる）！”—そして青少年健全育成であり、そこに“浪漫”を馳らせ、重点目標の一つである東日本大震災復興であります。

最後のアクティビティは、県立宮古水産高等学校の津波被害で流失損壊した実習用機材の補填などであり、特にも海洋技術課（潜水等）、食品家政科（海産食品製造管理等）生徒諸君の将来の実技上達に大いに寄与するものであり、代表生徒諸君と対面会話をしました。このことはグローバルなライオンズ活動としての、啓蒙の一助にもなっており、任期アクティビティにおける意義のあるアクションであったと考えています。

いよいよ、我々三役の任期も最後となり、振り

返ってみますと、トロント国際大会での第一声を思い出します。「ガバナーとなり大いに責任を感じている。ジョセフ・プレストン国際会長のテーマ「プライドを高める」とは、チームワークが一番大事、みんなで一緒にあまり固くならず仲良くクラブ運営をやっていきたい。一年間よろしくお願いします。」であります。このことは、「奉仕を通じて誇りを高める」次に「会員を通じて誇りを高める」以下、アクションが7項目で示されています。

私は、我々のモットーである「We Serve」の実行を思うとき、これを実行する原点は、会員の増強「Ask 1」が命題であるとして、ガバナー公式訪問を通じ、このことを会員に訴えました。この背景には、もう一つの大きな要因があります。日本ライオンズとして34年ぶりに、L.山田實紘が国際会長に選出されます。再び日本ライオンズの威光を示すためにも、会員の増強が必須の命題と考えたからです。

不肖、私の最大の目標は会員の倍増でしたが、それに及ばず、が332複合地区ではトップに躍進しました。一重に皆さんの努力、そのものと感謝、この上もありません。

最後で大変申し訳ございません。ガバナー就任以来、ガバナー公式訪問、第61回年次大会、その他ライオン皆さんには心あたたまるご理解・ご協力をいただき、盛会裏に終了できましたこと、本当にありがとうございました。

いよいよガバナーL.筒井學丸の船出です。こぞってエールを送り、応援しましょう。

新時代におけるライオンズのイノベーションを探し求めなければライオンズの新時代を拓けない。このことが未来のライオンズの新たな構築に繋がる！

あなたのクラブ、あなたのやり方で！

—クラブに合った例会づくり—

三役退任あいさつ

キャビネット幹事 L.西本 有伺 (盛岡中津川LC)



この一年を振り返り思うこと、それは皆様への感謝の気持ちです。

おおよそ半年の準備期間を経てスタートしたキャビネットですが、様々な場面で多くの方々にご協力いただきました。

初めて参加した国際大会のトロントでは、市内の中心道路を

埋め尽くす世界中のライオンの勇姿に興奮しました。

緊張と不安の中始まったガバナー公式訪問は、各ゾーンの心温まるおもてなしに感動し、各クラブのライオンズに対する熱意に身の引き締まる思いでした。

多くの行事に携わり、年次大会の準備に入るとあっという間

に一年が過ぎました。

吉田ガバナーのバイタリティーと伊藤会計のサジェスション、そして10人のZCの活躍に、キャビネットにご協力頂いた332-B地区の全会員・関係者に感謝しお礼申し上げます。

こうして一年間何事もなく活動できたのは、身近で協力して下さった方々の素晴らしさや、自分に活動の場を与えて下さった方、そのことを広めて下さった方々、それを求めてくれた方々がいてくれたおかげです。本当にありがとうございました。

準備期間を加えると一年半以上ガバナーチームと共に活動してきましたが、その間多くの方々にご協力いただき、様々な方々と触れ合うことが出来たことが一番の喜びでありました。

ゾーン・チェアパーソンと各クラブ会長さんの活動を重視するという事が吉田ガバナーの方針の一つにあり、特にも沿岸被災地のゾーン・チェアパーソンとクラブ会長さんには様々な支援の発案や申し入れに対するコーディネート等多くの時間を割いて頂き、数々のアクティビティを実現する事ができましたことに感謝申し上げます。



三役退任あいさつ

キャビネット会計 L.伊藤 英明 (盛岡LC)

この期間驚かされたのが、吉田ガバナーのお年に似合わない超人的なスタミナです。公式訪問等で夜遅くなっても疲れたという事もなく、若い西本幹事と私はついて行くのが精一杯ということがしばしばありましたが、6月21日のYCE派遣生の壮行会で公式行事は終了となり、ハワイでの国際大会が我々のゴール

となります。

この一年間の各クラブ会員の皆様の絶大なご支援とご協力に感謝申し上げますと共に、来年度の筒井ガバナーと花巻東キャビネットに対しても同様のご支援をいただきますようお願い申し上げます。



ゾーン・チェアパーソン退任あいさつ

1R1Z**L.千田 雅明**
(盛岡中津川LC)

この一年、吉田ガバナー重点目標のZ内達成、特に「アスク・ワン」の推進が最重要課題と認識しZC職務に取り組んでまいりました。結果、期首の272人から5月末には必達目標の325人に達することができ、米谷GMTコーディネーターのご指導と各クラブのご努力に深く感謝申し上げます。LCの6月病(年度末退会増)が発症しないよう、キープ・ワンに努めてまいりましょう。

あわせて、震災復興と青少年健全育成については、玉山姫神LCが被災地の小学生を対象に毎年実施してきた「夏休み 馬と仲良くなろう!! ふれあい企画」をZ内の合同支援事業として取り組みを進めております。

結びに、B地区で初となる女性ZCの誕生を控え、矢羽々次期ZCにはLC女性会員のポテンシャルを一層引き出していただき大きな奉仕の輪が広がることを祈念し、任期中お世話いただいた全ての皆様へ感謝を申し上げ、退任のごあいさつとさせていただきます。

1R2Z**L.久慈 隆**
(二戸LC)

昨年の7月にZC就任以来、吉田ガバナー、西本幹事はじめ

キャビネットの皆様のご指導、そしてゾーン内会員の皆様のご協力を得ながら責務を果たす事が出来ました。

公式訪問、ZC会議、キャビネット会議、周年記念への出席、ゾーン内のクラブ訪問、三役との諮問委員会等で多くの新しい仲間との出会いの中で他のクラブの状況、アクティビティを垣間見る事ができ大変参考になりました。永遠のテーマである会員増強には、地域の事情もありあまり協力出来ませんでした。ウィサーブの方針で地域が真に求めるアクティビティを実践し、ライオンズの高揚を図りながら会員数の維持増強に努めてまいりたいと思っています。

この一年間感謝を申し上げ今後ともゾーン内のメンバー皆様のご指導を宜しく申し上げます。

2R1Z**L.藤田 好造**
(花巻東LC)

任命されて1年が過ぎ十分な仕事をしたか、今反省している所です。特に内容を把握しないまま進み各クラブに迷惑をかけたこと。また、ゾーン内クラブの計画等を把握してコミュニケーション取れたらもっと良いクラブ運営になっただろうと考えます。どのようにガバナーの方針を伝えたらよいか、十分な指導力のないまま助言することも出来ない中進むことに躊躇しました。ただ、自クラブにおい

ては会長の方針のもとスムーズに行えたと思います。

地区ガバナー諮問委員会においてガバナーの方針を十分に伝えきれないまま過ぎたような結果になり残念です。特に「会員増強」はもっともっとアピールが必要と考えられ次のパーソンに申し送り致します。

ライオンズクラブに入会し、仕事にかまけて十分活動しないままゾーン・チェアパーソンを任命していただき、あまり内容の解らない自分を指導頂いたキャビネット、特にガバナーのバイタリティある指導・熱意には敬服するものがありました。キャビネット幹事においても会議をまとめる配慮、内容に精通し素晴らしい取り組みでした。やはりライオンズの内容をもっと理解し、それからまとめ役に徹するべきでした。

ガバナーの重点目標「アスク・ワン 次世代リーダーの育成」「東日本大震災復興」はライオンズの永遠のテーマのように思われ、引き続き推進するよう申し送りたいと考えています。あっという間の1年でしたので心残りもありますが、皆さんの協力をいただき何とか行ってきました。チェアパーソンとして培った経験を生かし、次のライオンズの奉仕へと進みたいと考えます。本当にありがとうございました。We Serve

2R2Z**L.高橋 寛**
(和賀LC)

昨年7月1日にゾーン内の4

クラブの挨拶回りをスタートした時は、長い一年が始まるな〜との思いがよぎっておりました。今年度はキャビネットの復興支援に充てる予算が厳しいので、単一クラブでの支援よりもゾーン合同での支援を考えて欲しいとの吉田ガバナーの意向もあり、ゾーンミーティングで提案したところすぐに賛同を得られ支援事業の中身の検討に入りました。色々な案が出されどれも素晴らしいものばかりでしたが、その中で北上LC提案の「チャリティ寄席」、和賀LC提案の「雪と遊ぼうin夏油」、北上国見LCと江釣子LC提案の「一輪車練習用手すり寄贈」と3件もの事業を行うことができました。これらのACTには沢山の会員に参加ご協力頂き、とりわけ4クラブの会長には大変ご苦勞をお掛けしましたことを心から感謝申し上げます。気付けばあっという間の一年だった様な気がします。皆さんに助けられて思い出深い一年になりました。本当にありがとうございました。

3R1Z

L.桐山 和夫
(金ヶ崎LC)

ライオンズクラブ入会22年。ゾーン会員諸氏の方々との1年間。ZCの任務意識が先に立っている割には6クラブに大した役割を果せなかったのではないかと反省の心が強く残ります。年間の行事をこなすこと、小澤アシストや事務局の支えには深く感謝するのみです。吉田ガバナー中心に役員の方々には勿

論、ZC同士の交流が始まったことは、素晴らしい縁をいただいたと思っています。会員増強への大きな壁、各ゾーンの状況、それぞれの考えも語り合うことで参考になり大変勉強になりました。第3回諮問委員会には米谷GMTを招いてのゾーン内の会員増強喚起、結果22名を増員することができました。惜しむはゾーンでの復興支援が実現出来なかったこと。沿岸へ調査に2度行きましたが予算捻出のタイミングが合わず見送りとなってしまいました。

皆様に励まされながら、1年間を勤めさせて頂きました。本当にありがとうございました。

3R2Z

L.吉原 睦
(花泉LC)

ZCとなり早1年、ゾーン内クラブ会長・会員の皆様、吉田ガバナーはじめキャビネットの皆様に御指導御協力を頂き、任を果たすことができました。ガバナー重点目標には程遠い働きではありましたが、ゾーン内に小さな変革を起こしたのではないかと考えております。役職が人を育てるとも言われますが、ZCの立場からブラザークラブの例会やアクティビティを垣間見ることができ大変参考になりました。ゾーン内、ZC同士、キャビネット役員、330-C地区との交流会等で多くのライオンと話す機会に恵まれ、多くを学ぶことができました。私が入会した頃花泉LCも40人を超え人材や財政が豊かでしたが、今や半数

となり運営に事業に苦勞しております。区内には倍増した所もあり視点を変えて会員増強を行ったとのこと、クラブも変化していかなければと感じました。ライオンズクラブにおいても変化に対応してゆく姿勢や意識改革が必要ではないかと思えます。勉強となった1年でありました。支えて下さいました皆様に感謝申し上げ退任の挨拶と致します。

4R1Z

L.佐藤 修蔵
(千厩LC)

昨年7月にゾーン・チェアパーソンに就任してから早いもので一年になります。

7月のゾーン幹事に始まり、8月のガバナー公式訪問、9月の6クラブ訪問、ゾーン親睦交流ゴルフ大会、ニューメンバースクールは11月と3月に2回行いました。

吉田ガバナーの重点目標である会員倍増（アスクワン）は、ゾーンの重点目標にするとともに、いち早く米谷春夫GMTコーディネーターに講師を依頼する等取り組みを行いました。

東日本大震災復興支援事業は4月にゾーン合同アクティビティとして、千厩町においてチャリティー民謡・歌謡バラエティショーを開催しました。千厩在住の被災者を招待するとともに、ショー終了後は入場者全員に桑ラーメン等の昼食を振る舞いチャリティーショーと併せ大変喜ばれました。また、一般入場者からいただいた復興支援金

60,000円を陸前高田市社会福祉協議会に寄贈しました。

以上ゾーンの事業を計画どおり実施しましたが、事業を行うことによりゾーン内6クラブの親睦、交流の一助になったと思います。

ゾーン内の会員の皆様には一年間ご協力いただきまして本当にありがとうございました。

4R2Z

L.佐々木松久

(住田LC)



ゾーン・チェアパーソンとして、この1年を総括するとき、吉田ガバナーの重点目標の1つである東日本大震災復興支援では、震災津波で校舎が全壊したゾーン内の中学校2校にLCIFからの青少年育成支援事業で、学校図書購入費として多額の支援金を送りました。

会員倍増「アスク・ワン」では、目標達成には至らなかったものの、ゾーン内クラブ鋭意努力をいただきました。

また、私ども4R2Zから第二副地区ガバナーL.森谷潤の誕生をみました。いずれこの1年間、キャビネットの役職員、ゾーン内各クラブ皆様のご協力、ご支援があってこそなされた業であります。ほんとうにありがとうございました。心から感謝申し上げますお礼と致します。

5R1Z

L.野澤 貫二

(岩泉龍泉洞LC)



昨年7月、ライオン歴の短いにも関わらずZCを拝命し、右往左往しながら何とか役割を終えることになりました。

吉田地区ガバナーの若さ溢れるリーダーシップのもとに、楽しく活動することが出来ました。小生の未熟さから、キャビネット並びにゾーン内の皆様に迷惑の掛けっ放しの一年でした。そのようなZCを快く支えて頂きました皆様に衷心より厚く感謝御礼申し上げます。ガバナーテーマの「浪漫」は活動する各ライオンに大きな夢や希望を抱かせ、やる気を起こさせる素晴らしい指針的なものでした。

ゾーンをあげて大歓迎をしたガバナー公式訪問、諮問委員会はゾーン内の距離感を物ともせず4地区を持ち回り開催しました。特に「会議は楽しく」を念頭に置きながら絆を強めることが出来たと思います。

アスク・ワンの取り組みは、皆様の努力に感謝しますが、今一つ思うような進展が見られなかったことが心残りとなっております。この運動は今後共継続して取り組むことを約束したいと存じます。

また、震災復興事業である、陸中宮古LC陽だまり支部の宮古体験広場への、LCIFから多額の支援事業は、復興に対し大きな希望と勇気を与えるものとなりました。

結びに、ライオンの皆様のご指導ご協力に感謝申し上げますと共に、ご健勝ご多幸をお祈り申し上げ退任のご挨拶とさせていただきます。

5R2Z

L.大和田助康

(釜石LC)



L.吉田昭夫ガバナーのもと、5R2Z ZCに就任以来、早いもので、もうすぐ1年が経過しようとしております。ガバナー公式訪問に始まりキャビネットZC会議(1~3回)・諮問委員会(1~3回)・各クラブの周年記念大会出席また、東日本大震災支援受け入れ等とめまぐるしい1年でした。その中でも、L.吉田ガバナーの重点目標である会員増強、アスクワンを5R2Z 各クラブのメンバーがよく理解して頂き、5クラブ中4クラブが120%以上の増員を達成して頂きました。

本当に、各クラブ三役及びメンバーに“ご協力有り難う”とお礼、を申し上げます。

また、震災後、県内はもとより全国の各クラブより、ご支援ご協力頂きましたこと、感謝申し上げます。

まだまだ、復興途中であります、今後とも被災地を忘れることなく、お互いに助け合って行ければと思っております。

我がライオンズクラブもCN50周年を向かえようとしております。まだまだ、会員増強をはかって行かなければならず、会員一同頑張っていこうと思っております。

この1年間、L.吉田キャビネット役員はもとより、県内各クラブのメンバーそして何よりも、5R2Zの各クラブのメンバーに心より“有り難うございました”と申し上げます。

第4回 キャビネット会議報告

期日：2015年6月9日（火） 会場：盛岡市 ホテルメトロポリタン盛岡

報告；キャビネット事務局長 L. 佐々木 和夫（盛岡中津川LC）



6月9日梅雨を思わせる空模様一年という時間の早さを感じ、いよいよ第4回キャビネット会議を迎えました。キャビネット会議に先立ち、15時より第4回ゾーン・チェアパーソン会議が開催され、3項目の議題を協議しました。協議を終えて各ゾーン・チェアパーソンより、今期総括のお話を頂きました。その中で特に被災地のゾーン・チェアパーソンからは、被災地支援についての忌憚のないお話をいただき、次期の地区運営に繋がる貴重な意見であったと感じました。

続いて16時定刻、総勢75名の役員・オブザーバーの出席のもと、キャビネット副幹事L.川村勇司の司会により第4回キャビ

ネット会議が開会されました。吉田ガバナーより第61回年次大会終了の御礼と、この一年キャビネットを支えて頂いた皆様への感謝の挨拶があり、花巻東LC筒井ガバナーエレクトへのバトンタッチのカウントダウンが始まったことを実感しました。

壮大なガバナーテーマ『浪漫』は即ち、『デッカイ感動！デッカイ夢！デッカイ未来！青少年健全育成』に繋がり、「青少年健全育成」こそが332-B地区の未来を創るのだと。バイタリティある吉田ガバナーの挨拶にしばし引き込まれました。思い描く東日本大震災から復興した沿岸の風景が一日も早く現実のものになるようにと、願わずにはいられませんでした。

会議は、西本キャビネット幹事による「第3回キャビネット会議議事録確認」「第61回年次大会決議確認」「運営報告」とスムーズに進み、吉田ガバナーによる議案審議も第1号議案より第3号議案まで全て原案通り承認され、予定時間より早く閉会ゴングとなりました。引き続き、佐々木賢治地区名誉顧問会議長の乾杯のご発声により懇親会が開催され、この一年のお互いの奮闘を称えながら和やかに盃を交わしました。最後になりましたが、皆様から賜りましたキャビネット運営へのご協力に衷心より厚く御礼申し上げます。議案内容は下記のとおりです。

- 第1号議案 2015年7月～2017年6月ライオンズクエスト拡大事業におけるLCIF四大交付金助成金申請について
- 第2号議案 次期キャビネットへの申し送り事項の件
- 第3号議案 各役職委員の任期と引継ぎの件
- ☆決議 第1号議案～第3号議案全て原案通り承認する。



ライオンズクラブ国際協会332複合地区 5月23日(土)~24日(日)開催

第61回年次大会参加報告

大会テーマ「～今と未来をみつめて We Serve～」

地区国際協調・大会参加・PR情報・IT委員長 L.篠木 清 (滝沢LC)

332複合地区第61回年次大会は、城下町として発展した美しい街、初夏の山形市で開催された。

5月23日(土) 前夜祭

(会場：ホテルメトロポリタン山形)

今期も終盤をむかえ、やや安堵した表情の吉田ガバナー、盛岡中津川キャビネット役員、332-B地区各クラブのメンバーと合流。美食と共に地元の銘酒、山形の「お・も・て・な・し」を堪能。



5月24日(日) 大会代議員会

(会場：山形テルサ)

332複合地区矢羽々 FWTコーディネーター (盛岡観武LC) は、やや緊張した表情ながら、凛として紅一点、壇上に華をそえた。

全体会から、分科会、総会。決議には時間を要する議案もあったが、すべて原案通り承認。

メイン会場の裏側では、筒井ガバナーエレクト登場へ向けて、緊張がひしひしと感じられた。



大会式典は、清水国際理事から、「チャレンジ toイノベーション」常に挑戦せよ！革新せよ！という「デッカイ夢！」熱いメッセージ。山形県知事の山形“愛”を語る、女性らしい流れるようなスピーチに「デッカイ感動！」があった。

本大会副会長の吉田ガバナーは、次年度332複合地区アクティビティスローガンを雄々しく堂々と発表された。

勇ましく登場！筒井ガバナーエレクトは、白いタキシード姿、令夫人と共に清々しく、東北六県のガバナーエレクトと共に大役を務められた。

議長晩餐会は、(会場：ホテルメトロポリタン山形) 竹田ガバナー協議会議長の、ほっとした笑顔に迎えられた。アトラクションは、花笠踊り同好会「四面楚歌」のメンバーによる元気な踊りの後、若く艶やかな「やまがた舞妓」5人の登場に、会場内のメンバーはうっとり…

日本国内、今期最後の公式行事となった332複合地区第61回年次大会、この一年を思い出し、印象に残る素晴らしい大会でした。

いざ行こう「デッカイ未来へ！」332-B地区、ますますの飛躍をお祈り申し上げます。



写真で綴る

332-B地区 第61回 年次大会



アワード贈呈



受賞者の皆さん大変おめでとうございます。



祝賀会



皆さんでわきあいあいと、沢山の笑顔が生まれました。



ホストクラブ懇談会



年次大会運営お疲れ様でした。

田野畑ライオンズクラブ15周年 記念式典を終えて

田野畑ライオンズクラブ会長 L.佐々木 菊三郎

332-B地区ガバナー、及びキャビネット役員、多くの来賓の方々をお迎えし、田野畑ライオンズクラブ15周年記念式典が当村ホテル羅賀荘において6月13日開催されました。開会ゴングに始まり、特にガバナーからは身に余るお話を頂き感謝しております。15年と浅いクラブですが、どうにか15年持てたと思っております。振り返りますと、いかに継続事業が大切か、また、例会をどのように運営するかでそのクラブが決まるような気がしております。

そして、スポンサークラブを始めとするブラザークラブにどれだけ助けられて来たのか、感謝するのみであります。

又、東日本大震災でも、地区内はもとより全国の仲間からの支援、驚くばかりでした。本当に有難うございました。東日本大震災の前、クラブの解散も考



えて居た訳ですが、解散していませんでしたので、多くの支援を頂くことが出来たと思っております。改めて仲間の力を感しました。

そして、新しい気持ちで、20周年に向けてクラブの仲間丸となって頑張りたいと思いますので宜しくお願い致します。15年間有難う御座いました。



編集委員による座談会から

ガバナーがいてキャビネットがある——このことを考えての一年。

当初、編集委員が全員でかわるライオンいわて誌にしていきたいと申し上げたのだった。

が、原稿は一度に集まってくるわけではなく、一つひとつのために招集をかけることはためられる。月一度の編集会議での意見交換や報告で済ませてしまうことが多かった。

だからひとりひとりの足跡をコメントで残して頂くことにした。それには感動も夢も未来もあるはずだ。

6月22日、ようやく編集委員の座談会を開くことができた。本来の趣旨はガバナー夫妻にも加わっていただいていたの総括であったけれど、昨年来のお願いも夫妻のご多忙ぶりを聞いては無理はさせられず、それぞれの都合を縫い合わせての開催だった。

「Ask1」が話題になり「これは入会を勧める、誘ってくださる方の人柄ではないか」とひとりが言う。奉仕は後からついてくることだと。

面々なるほど…そうだね…と呟いている。ライオンズクラブという組織でもなく、奉仕という枠でもなく、「アスクワン」ができないのは自らであると知らされた思いがした。

過日の田野畑ライオンズクラブ15周年式典後の懇親会がとて

もあったかいもので溢れていたことを思い出す。盛岡への帰途の車中でもこの話題があがった。和やかな会でしたねと。

人が集うとき ひたむきな明るさと楽しさが湧き出る場は人を幸福にする。

幸福を手渡していくライオンズクラブ——であればいい。

遠く広がる田野畑の海を見て、津波があった海とは思えないとポロリと言葉にしてしまった。すると、そばにいらした人が翌日の海は本当にきれいだったんですよと話してくれた。

案じていた海の人たちから、思ってもいなかったものを受けとった。優しい強さと云えばいいだろうか。

心から離れない会話であった。

編集長

L.松本 征子 (盛岡中津川LC)

今まであまり意識せずにライオンいわてを見てきましたが、ライオンいわて編集委員になって考えたことは、誰のためのライオンいわてなのか、ガバナー・キャビネット・クラブメンバー・クラブ以外の人のため、誰の為なのか？それによって編集のやり方が違って来ると思います。

ガバナーの為なら意志にそった編集、キャビネットの為ならキャビネットを受け持った地域の特色をだせば良いと思いますし、クラブ以外の人が見るなら

ライオンズがどの様なクラブなのかを紹介する記事を書ける、しかしクラブメンバーの為なら、原稿を依頼して初めて原稿を書いてもらうのではなく、「私のクラブではこの様なアクティビティをやってよかったからぜひ載せてほしい」とか、「この記事に掲載してほしい」、「この様な事を行うので協力してほしい」など、もっと自由に原稿を寄せられるライオンいわてにするべきだと思います。また、原稿を送って頂ければ良かったと編集の仕事が終わるこの時期になって考えてしまいました。

副編集長 L.米澤 俊夫

(盛岡中津川LC)

編集会議と称した飲み会へ参加したところ、編集長からの指令が・・・

「ライオンズクラブに関することについて何でも良いから明後日までに原稿を上げて下さい」。毎度のことながらスクランブル指令だ。今回は依頼日の翌日が締切日（その時は副編集長からでしたが）だった（笑）。

編集長は「クラブに関して、文句でも良いから本音を書け」という。

メンバーからは「本音など書ける訳ないですよ～」と。

テーマが何でも良ければ、と勝手にテーマを作ってそれぞれが得意分野を披露する。

ある者は「本当に良い保険とはどういうものなのかを書く」と言う。

またある者は「JAZZのウンチクで良ければ何ページでも任せろ」と言う。

(それらが原稿にならないのは非常に残念)

まだクラブへの入会がホヤホヤの私が、どのような経緯か知らないが編集委員を拜命し、この様な楽しい人達との出会いがあった。

白状するが、ともすれば会社人間になりかけた普通のサラリーマンが、ライオンズクラブに入った故に「仕事が増えるなあ」と、マイナスイメージでの入会だったが、今となっては「人生、塞翁が馬」のような心境である。

今シーズンのテーマは「アスクワン」。

あの手この手でメンバー勧誘を試みたと思うが、最後はやはりスポンサーの人柄が決めてではないか？と言うのが昨夜のメンバーの一致した意見だった様に思う。

私はスポンサーの強引な求心力で入会したと思っているが、それはそれで単なるキッカケ過ぎない。今となっては多くの出会いがあり、そしてそこから多くの発見ができたことを素直に感謝したい。

まだライオンとしての経験が少ない私が、なぜか編集委員を拜命することになったが、やはり今考えると、個性豊かな編集委員の面々との出会いが一番の収穫だったなと納得している。

L.前田 秀男 (盛岡不来方LC)

.....

ライオンいわて編集委員が一年間の苦労を慰労する懇親会を催した。その会話の中で、編集長より「なぜライオンズクラブに入ったの？」という質問があり、それぞれ自由に語ってくれた。各人各様の事情や思いがあり、時期もクラブもまちまちに入会したメンバーが、何の因果かここに集っている。これも「御縁」か、と思う。

私のスポンサー (故L.小林清) が、先日亡くなった。ライオンズクラブが大好きな人で、体調を崩されてからもヘルパー同行で例会に出席していた。大変残念である。

そもそも私のスポンサーになった理由は、私の会社の創業者 (故L.加藤芳太郎) がL.小林のスポンサーだったため、自分がスポンサーをしなければ恩返しが出来ないというものだった。これも「御縁」かと思うが、それだけではない。私は松尾鉦山の生まれで、当時スポンサーも松尾鉦山で働いていた。私の父も鉦山で働いていて、年齢も同じで同僚だった。退職後も二人はずっと付き合いがあった。その後何の因果か私とスポンサーは同業者となり、業界の会合で隣り合わせの席に座り、語り合ううちにライオンズクラブに勧誘され、盛岡中津川ライオンズクラブに入会した。

今の業界に入る前、初めて就職して15年間勤めた職場の経営者も盛岡中津川ライオンズクラブの会員だった。入会してみると、不思議と御縁のある方がたくさんいた。同業者や松尾鉦山関係の方、仕事でお世話になっている方、同級生、友人など。

自分はこのクラブに入るべくして入ったのだと入会直後から御縁を感じていた。

今期のガバナーとは仕事の関係もあったし、3人の息子さんと音楽の仲間でもあり、最近はお孫さんまで一緒することが多い。

また、ライオンいわて編集長とは長年にわたり、親戚か家族のようなお付き合いだったため、大変やりにくかった (笑)。

ライオンズクラブをめぐる人の輪はどんどん広がり、得難い仲間と巡り合った。

残念ながら物故ライオンとなってしまったスポンサーの名前が、会員名簿のスポンサー欄から消えないように、できるだけ長く会員でいたい。

L.鈴木 耕平 (盛岡中津川LC)

.....

当初は右も左もまったく判らずに参加させていただきました。1年間どうなるのだろうかという不安ばかりでした。しかし編集委員やクラブ内の諸先輩方々の援助を受けながら月が進むごとに編集委員の業務を自分なりに理解して皆様お会いするのが楽しみになっていきました。

なかなか経験する事がない編集の業務。なかなかお会いすることが少ない他クラブの方々と会い真剣に討論する素晴らしい機会に今は只々感謝です。

この1年間編集委員として参加させて頂き経験した事をクラブ内でも、また普段の業務にも何かしら活かしていきたいと思っています。

最後に松本編集長をはじめと

した編集委員の方々、またライオンいわてを温かく見守って頂きました会員の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

L.小野寺 平信 (盛岡南LC)

十二年前のある日お取引先の社長が来られ、やにわに「ライオンズクラブって知っているか。聞いたことぐらいあるだろう?」「今度、玉山に発足する事になった。ついては若い人に雑用をしてもらいたい。」「深く考えなくてもいい、心配無いから黙ってここに判を押して。」当時まだ三十代だった私は、中身はわからなくとも雑用係だったら何とか成るかと思ひ（断れる雰囲気では無く、選択の余地は有りませんでした）入会申込書に捺印しました。ただ一言「心配ないから」という言葉だけを頼りに。

以来、雑用係のはずがクラブ会計・クラブ幹事・クラブ会長・キャビネット副幹事・ライオン

いわて編集委員と経験させてもらいました。

入会時に燃えるようなボランティア精神が有ったわけでもライオニズムを理解していたわけでも無く、ボランティアを行う団体という認識のみでほぼ「無」の状態での入会でした。新設されたクラブという事情もあり自らのクラブ例会だけでなく、キャビネットやゾーンのさまざまな会議に出席するようになりました。最初は緊張していた会議も出席者の顔と名前が一致するようになった頃には、話を聞く余裕もできてきました。すると、ほとんどの方は私より一日の長がおありですから会議中の談義や後の懇親会での雑談などで自分が知らない事や自分には無い発想などを話され、それをととても興味深く聞いています。読書にもつながることですが、一生のうちに自分が体験し得る事柄は限られます。しかし本を読んだり話を聞いたりすることによって疑似体験でき、自分の経験値が何倍にも増えて行く。

それはなんと楽しいことか、なんと夢の広がることかと考えただけでワクワクします。私のライオンズクラブとの始まりは真摯な考えや熱い思いからではありませんが、今はここに来なければ得られなかった貴重な体験をさせてもらっています。

陶淵明の桃花源記に由来し、一休宗純の書で有名な「漁人入得桃花洞（ぎょじんいりえたりとうかどう）」意味は「漁をする人は無欲でなくてはならず、何の疑心も持たないそのような者だからこそ、するすると桃源郷に入ってこれたのだ。」

無欲な想いで入会したライオンズクラブでしたが、今やさまざまなことを教わりたくさんの方との出会いが私にとっての桃源郷・・・とは言い過ぎですが、大切な場となりました。

ライオンズクラブの第一義は世界のため地域のためですが、自分のためにもこれからも関わっていきたいと思います。

L.中野 昌明 (玉山姫神LC)



岩手県立宮古商業高等学校 前川 心 様撮影



5月のアクティビティ

1R1Z		
盛岡LC	9日	第25回盛岡LC旗争奪リトルリーグ大会
	16日	330A「東日本大震災アクティビティ」協力
盛岡不来方LC	20日	直接献血
	28日	「緑の募金」協力金拠出
盛岡中津川LC	—	—
盛岡観武LC	6日	国際地球デー 小鹿公園清掃
盛岡南LC	—	—
滝沢LC	—	—
玉山姫神LC	—	—
1R2Z		
岩手LC	—	—
二戸LC	13日	住みよい二戸市をつくる市民運動推進協議会総会
	24日	国際地球デー 植樹、枝切
西根LC	7日	ライオンの森・ユリノキ手入れ
安代LC	—	—
2R1Z		
花巻LC	17日	LCIF献金ネパール大地震被災者救援
紫波LC	1日	第3回薬物乱用防止推進運動
	24日	ライオンズの森環境整備
石鳥谷LC	3日	チャリティゴルフコンペ（事業資金獲得）
	27日	献血推進活動
大迫早池峰LC	—	—
花巻東LC	24日	高村光太郎記念館付近に舞茸敷設
東和猿ヶ石LC	15日	直接献血
矢巾LC	20日	矢巾町総合グラウンドの環境整備とグラウンド周辺の草刈
	22日	LCIF\$1000献金、LCIF\$20献金
2R2Z		
北上LC	4月1~30日	資源回収リサイクル活動
	1、8、20日	献血推進活動 4件
	13日	あけぼの福祉作業所へタオル寄贈
	25日	北上市ラグビーフェスティバル観戦チケット寄贈
和賀LC	29日	LCIF献金ネパール大地震被災者救援
	8日	献血推進活動 2件
北上国見LC	25日	北上市ラグビーフェスティバル観戦チケット寄贈
	1、15、24日	献血推進活動
江釣子LC	10日	早朝清掃活動
	13日	図書購入費寄贈
	21日	直接献血
	25日	北上市ラグビーフェスティバル観戦チケット寄贈
江釣子LC	10日	献血推進活動
	11日	ベルマーク寄贈
	12日	北上市ラグビーフェスティバル観戦チケット寄贈
	12日	カープミラー清掃
	26日	資源回収
28日	LCIF献金ネパール大地震被災者救援	
3R1Z		
水沢LC	3日	水沢LC旗争奪区内中学校野球大会
	19日	水沢フラワーロード運営委員会総会
	25日	奥州市献血推進協議会
	26日	LCIF献金ネパール大地震被災者救援
江刺岩手LC	1日	国際地球デー 植樹
	4日	献血推進活動
	9日	江刺岩手旗争奪奥州市江刺区内中学校野球大会
前沢LC	28日	LCIF献金ネパール大地震被災者救援
水沢中央LC	17日	献血推進活動
	19日	水沢公園時計塔・藤棚付近の清掃
金ヶ崎LC	9日	奥州市民憲章推進協議会
	22日	金ヶ崎観光協会総会
25日	使用済み切手 363枚送付	

胆沢岩手LC	11日	献血推進活動
3R2Z		
一関LC	28日	使用済み切手 4000枚送付
平泉LC	18日	平泉国際交流協会
	26日	平泉をきれいにする運動
	31日	国際環境デー 弁慶の森草刈選定
花泉LC	19日	さくら園へ資源再利用品の収集支援
一関中央LC	9日	使用済み切手 1000枚送付
	10日	月一奉仕活動
	14日	LCIF\$1000献金
一関厳美溪LC	—	—
4R1Z		
千厩LC	23日	千厩小学校大運動会
大東岩手LC	22日	国際地球デー 大東小学校へプリンター寄贈
東山LC	12日	献血推進活動
藤沢岩手LC	—	—
川崎岩手LC	13日	川崎保育園花壇整備
室根LC	23日	プリンター配布事業
4R2Z		
大船渡LC	24日	ライオンズ農園
陸前高田LC	28日	LCIF献金ネパール大地震被災者救援
住田LC	11日	交通安全指導
大船渡五葉LC	5日	鯉のぼり子どものつどい
5R1Z		
宮古岩手LC	11日	春の交通安全運動街頭啓発活動
	11日	希望郷いわて国体宮古市実行委員会
	21日	宮古市献血推進協議会
	27日	宮古道路をまわる会総会
久慈LC	—	—
陸中宮古LC	11日	春の交通安全運動街頭啓発活動
	11日	希望郷いわて国体宮古市実行委員会
	12日	レディの会
	13日	東日本大震災復興支援「ライオンズクラブ映画会」
	16日	330A「東日本大震災アクティビティ」協力
	21日	宮古市献血推進協議会
	22日	百獣の王「ライオンコンペ」（事業資金獲得）
	27日	宮古道路をまわる会総会
22日	千羽鶴作成	
30日	十二神千古の森保全協議会に協力金	
田野畑LC	20日	使用済み切手 1300枚送付
岩泉龍泉洞LC	11日	春の交通安全運動 街頭交通監視活動
5R2Z		
釜石LC	4月30日	東海LCと友好クラブ締結
	20日	LL奉仕活動
遠野LC	4月25~29日	遠野LC旗争奪学童野球大会
	10日	ダイワハウス全国少年少女野球教室
	13日	リサイクル品の回収
釜石リアスLC	22日	使用済み切手 1000枚送付
大槌LC	20日	旧役場前の献花台の清掃
陸中山田LC	—	—
ライオネスクラブ		
西根LS	6日	早朝例会のための豚汁づくり
レオクラブ		
盛岡LEO	—	—
早池峰LEO	—	—
石鳥谷LEO	—	—
北上LEO	8日	献血推進活動
一関二高LEO	—	—
釜石LEO	—	—

浪漫に馳せて！

地区ガバナー L. 吉田 昭夫
(盛岡中津川LC)

真っ赤な太陽の季節からスタートした“浪漫に馳せて”の思いも、ア…と云う間に一年経過しました。ライオンの皆さんご協力ありがとうございました。

世界に誇る最高の人道的社会奉仕団体LC 210ヶ国770余名のガバナーとして、その332-B地区ガバナーとして、その行動を(Ask1)に懸け、一年間夢中で走りました。

ジョー・プレストン国際会長のテーマ“誇りを高めよう”のもと・奉仕を通じて・会員増加を通じて…9項目にわたり、そのアクションにロマンを求めました。特に今年は、日本から34年ぶりに国際会長にL.山田實紘が選出されます。このことは、いろいろな事情はあるにしろ、日本ライオンズの現状を見ると(私なりに)ややもすればステータスにこだわり保守的、閉塞的、そのほか創設時か

らの諸事情…はあるでしょうが、今これから脱皮し、世界の潮流から取り残されないよう勇気を持って改革に挑戦しなければなりません。千載一遇のチャンスです。世界中に日本ライオンズのアイデンティティを顕示しましょう。正に変化の時代であり臨機応変が必要です。今は変化が必要な時です。

私はいつも“故事”に倣うを引用しますが…孫子の有名な「風林火山」(軍争篇)とは、環境の変化に素早く対応して行動すると云う意味で、これは正堂堂の集団であって、初めて可能となることです。時代の変化にはロマンを掲げ、目的を失わず、臨機応変に動くことが肝要です。

あなたのクラブ、あなたのやり方で！

しっかり理解しましょう。この言葉はL.山田實紘の考えです。

会員動向	
5月 新入会員一覧	
クラブ名	会員名(新入/再入/転入)
盛岡LC	伊藤 淳之介
	佐野 公房

北上LC	佐藤 甲
	下野 敦司
	樋口 愛晃
前沢LC	辻山 光洋
金ヶ崎LC	松本 司

5月 MJF \$1000献金者		
クラブ名	会員氏名	MJF回数
矢巾LC	斉藤 秀造	14
一関中央LC	小岩 丈郎	9

訃報

盛岡中津川LC
故 L. 小林 清

享年86歳
(1985年12月入会)
5月2日ご逝去



大船渡LC
故 L. 新沼 金吾

享年80歳
(1983年4月入会)
5月2日ご逝去



家族会員 久慈LC 故 L. 外里 キク 享年97歳 (2015年3月入会) 4月1日ご逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

アクティビティ フォトグラフ



二戸LC

国際地球デー 植樹、枝切



西根LC

ライオンの森・ユリノキ手入れ



大迫早池峰LC

清掃奉仕



花巻東LC

高村光太郎記念館付近に舞茸敷設



北上国見LC

図書購入費寄贈



水沢LC

水沢LC旗争奪区内中学校野球大会



江刺岩手LC

江刺岩手旗争奪奥州市江刺区内中学校野球大会



花泉LC

さくら園へ資源再利用品の収集支援



大東岩手LC

国際地球デー 大東小学校へプランター寄贈



室根LC

花壇整備



遠野LC

ダイワハウス全国少年少女野球教室



西根LSC

早朝例会のための豚汁作り

編集後記

今期最終号である。編集委員全員でかかわりあう誌をと四苦八苦して作ってはきたものの、下手なまま終わってしまうことをお許し願うしかない。表紙写真もほぼ素人。編集委員撮影もある。高校生に登場いただいたのは、沿岸の子供たちの今を伝えたかったからだ。「これ俺の写真!」「これ私の記事!」と後年思い出してもらえればと願っている。外の空気を入れてたくてメンバー以外の方にも書いて貰いた。

皆様ありがとうございます。
宮古商業高校の生徒さん、粘り強くかかわってくれた編集委員、そして期日に遅れがちで迷惑をおかけしてしまった川口印刷の方々。今は感謝でいっぱいである。

編集長 L.松本征子

表紙写真：最終号の表紙にも苦戦させられた。何枚もあるのに…結果、最後も目の出となった。332-B地区の隆盛を祈りながら。
L.松本征子

ライオンズクラブ国際協会332-B地区 キャビネット事務局

ライオンいわて編集委員会

発行 2015年6月25日

発行人：L.吉田昭夫（盛岡中津川LC）
編集長：L.松本征子（盛岡中津川LC）
副編集長：L.米澤俊夫（盛岡中津川LC）
編集委員：L.高橋次郎（盛岡LC）、L.前田秀男（盛岡不来方LC）、
L.鈴木耕平（盛岡中津川LC）、L.佐藤博藏（盛岡観武LC）、
L.小野寺平信（盛岡南LC）、L.千田幸一（滝沢LC）、
L.中野昌明（玉山姫神LC）

印刷：川口印刷工業株式会社
事務局：〒020-0022 盛岡市大通3-6-12開運橋センタービル4-7号
TEL 019-621-1415 FAX 019-621-1420
E-mail : office-332bmorioka@almond.ocn.ne.jp